

第3回ため池百選選定委員会 議事概要

1 日時：平成21年11月20日（金）10:00～12:00

2 場所：農林水産省技術会議事務局委員室（本館6階）

3 出席者：別紙のとおり

4 概要：

(1) 第1回ため池百選選定委員会において、具体的な百選の選定に係る会議、資料等は非公開とされているため、第3回ため池百選選定委員会は非公開にて開催された。

(2) 事務局から、第2回委員会の議事概要、ため池百選の応募状況、選定のスケジュール、百選候補の一次選定（案）、百選の選定方法（案）について説明があった。

(3) 委員からの主な意見

① ため池百選候補の一次選定（案）について

- ・多くの応募されたため池を扱うので、一般投票の対象となるため池を客観的指標から絞り込む今回の方法は合理的で妥当ではないか。
- ・「生物多様性」など専門の立場から各委員の持っている知見も加えて一次選定を行うのがいいのではないか。
- ・ため池に係る活動が盛んで、アピールの上手なところからの応募が多く、地元や都道府県の考え方や取り組み方に左右されているところがあるのではないか。
- ・ため池百選を選ぶことは、そこの地域の活動をより盛り上げるとか、そういうことを後押しするところも役割としては非常に大きいのではないか。
- ・一次選定のため池は事務局が客観的指標から絞り込んだものに、「生物多様性」の専門的視点からの検討を加えたもので良いのではないか。

② ため池百選の選定方法（案）について

- ・「農業の礎」についてのアピールがやや薄いため池もあるが、そこを大事にするというのが、この選定基準の一番中心にすべき点ではないか。
- ・評価のポイントは委員の方々が選考の中でお考え頂くことだが、現に農業用の水源としてため池の水が利用されているものを百選の対象としており、農業との関係は前提となっている。
- ・投票の際の地区資料となるホームページ上のため池の紹介文章は、これまで収集された情報をもとにある程度統一的に事務局の方で準備するのがよいのではないか。
- ・百選選定に当たっては、地域バランスのあり方も議論のポイントとなるのではないか。
- ・選定方法、スケジュールは、今回説明いただいた内容で進めてよいのではないか。

文責：ため池百選選定委員会事務局（農林水産省農村振興局整備部防災課）

－速報のため、事後修正の可能性あり－

(別紙)

第3回ため池百選選定委員会

出席者名簿

座長	林良博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
委員	青山咸康	石川県立大学生物資源環境学部教授
	内田和子	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授
	近藤和行	読売新聞東京本社編集委員
	目光紀	ふれあいチャンネル 顧問 制作・技術統括本部長 (元 全国地方新聞社連合会副会長)
	英伸三	写真家
	平野啓子	語り部、大阪芸術大学芸術学部教授
	鷺谷いづみ	東京大学大学院農学生命科学研究科教授

(五十音順、敬称略)

農林水産省	齋藤晴美	農村振興局次長
	齋藤政満	農村振興局整備部長
	小林祐一	農村振興局整備部設計課長
	黒田憲司	農村振興局整備部防災課長
	佐藤具揮	農村振興局整備部防災課海岸・防災事業調整官